

鳥インフルエンザに効果が期待される安全な除菌剤を開発

消石灰に比べて人や家畜に安全で、効果が長期間持続する除菌剤を開発しました。実用化に向けて、除菌効果を更に延長しコストの低減を図る研究に取り組みます。

背景

- 令和4年度における鳥インフルエンザの国内発生数は過去最多となり、1,700万羽以上が殺処分されるなど養鶏農家の脅威となっている（府内の飼養数約235万羽）
- 家畜伝染病に対する予防消毒は消石灰を用いて行われているが、効果が約2週間に限られるためシーズン中は何度も散布が必要
- 消石灰は強アルカリ性で、肌や粘膜、目に直接接触すると炎症や失明につながる可能性

課題等

- 消石灰より消毒効果が持続し、散布労力を軽減できる剤の開発
- 消石灰を散布できない畜舎内や動物園等でも使用できる安全性の高い剤の開発

●天然由来の粒状除菌剤「ヨドックス粒」を開発



触れても安全

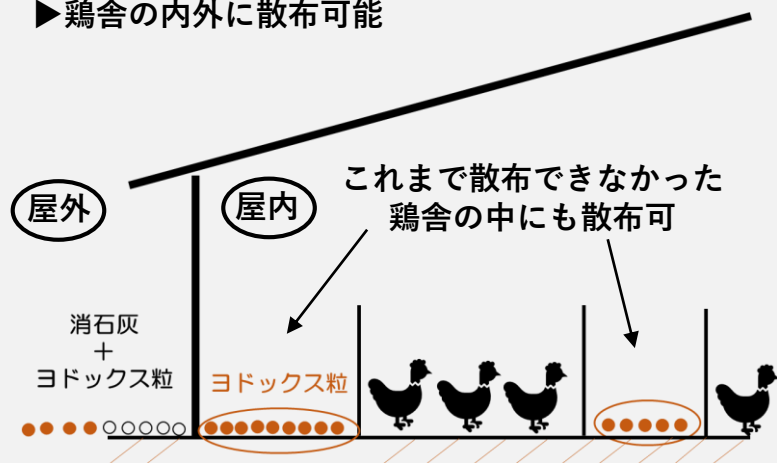
構造 ヨウ素化合物 + 火山性軽石
(天然由来)

消毒効果 消石灰に比べ4倍持続
〔ヨドックス粒:約8週間
消石灰:約2週間〕

散布労力が軽減

●散布エリアが拡大

▶鶏舎の内外に散布可能



▶動物園でも散布可能



- 自然な色合いのため景観になじみやすい
- 日本の土壤に多い弱酸性で触れても安全

研究成果

- 消石灰に比べ消毒効果が4倍持続する除菌剤を産学官で共同開発しました。
- 畜舎の内部や動物園等これまで消毒が困難であった場所での除菌が可能になります。

今後の展開

- 家畜伝染病予防法で指定する防疫資材として使用できるよう引き続き農林水産省に要望します。
- 除菌効果を更に延長する技術開発に取り組み、実用に向けた運用コストの低減を図ります。